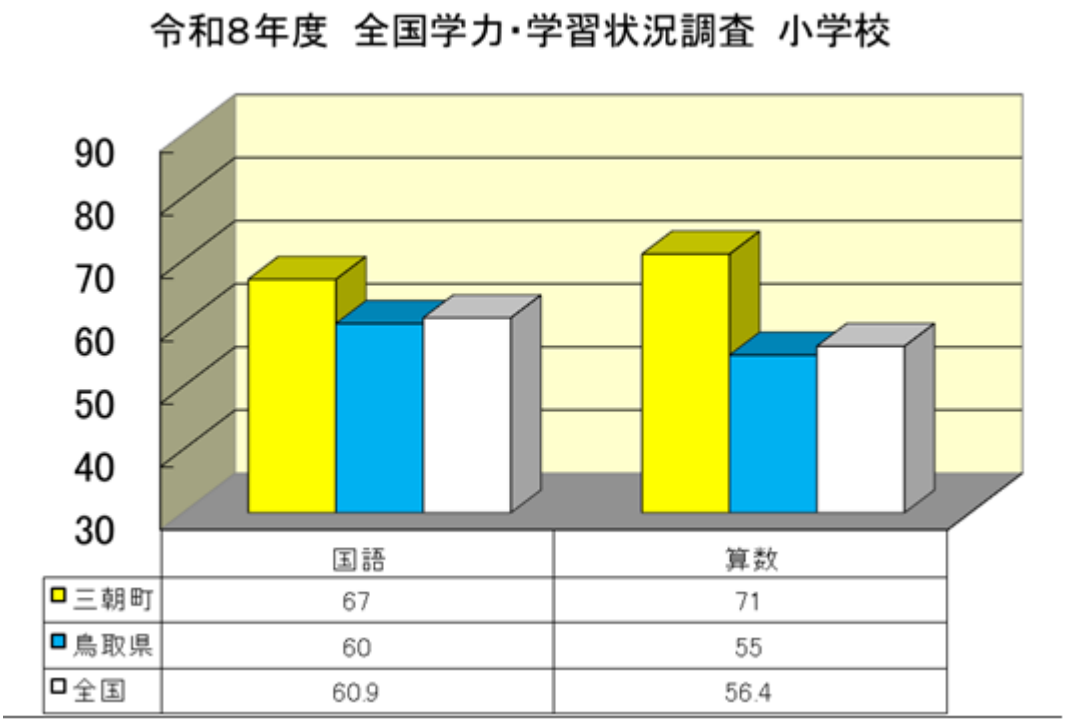
令和８年度

全国学力・学習状況調査結果
三朝町の概要

三朝町教育委員会

Ⅰ　三朝小学校６年生の結果について（児童数４８名/５１名）

（１）教科調査　　※数字は平均正答率（%）。県・市町村は、小数点以下四捨五入し整数で公表。



【国語】

・平均正答率は 67%に達し、全国平均（60.9%）および鳥取県平均（60%）を大きく上回る極めて良好な結果であった。

・領域別では、「書くこと」（54.2%：全国比＋8.5 ポイント）や「読むこと」（72.9%：全国比＋7.0 ポイント）の伸びが顕著であった。

・大問２の四（抜き出して考えを伝える記述問題）では、正答率 52.1%と、全国平均を 18.6 ポイント上回った。

・文章を読んで考えたことを自身の経験と結びつけてまとめる記述問題（大問３三（２））では、87.5%（全国比＋11.1 ポイント）という非常に高い正答率を記録した。

・「知識・技能」の評価観点においても 69.4%（全国 62.0%）と高く、学習の基礎事項が安定して定着している。

・【今後の授業改善に向けて】意見や提案を行う際の「話の中心と構成」や、書く活動における「文章全体の構成や展開」を意識した系統的指導、情報を「引用・再構成」して考えを伝える力の育成、及び、的確な理解に基づいて自分の考えを形成し、対話を通して深め合う学びを重視し国語力のさらなる底上げを推進する。

【算数】

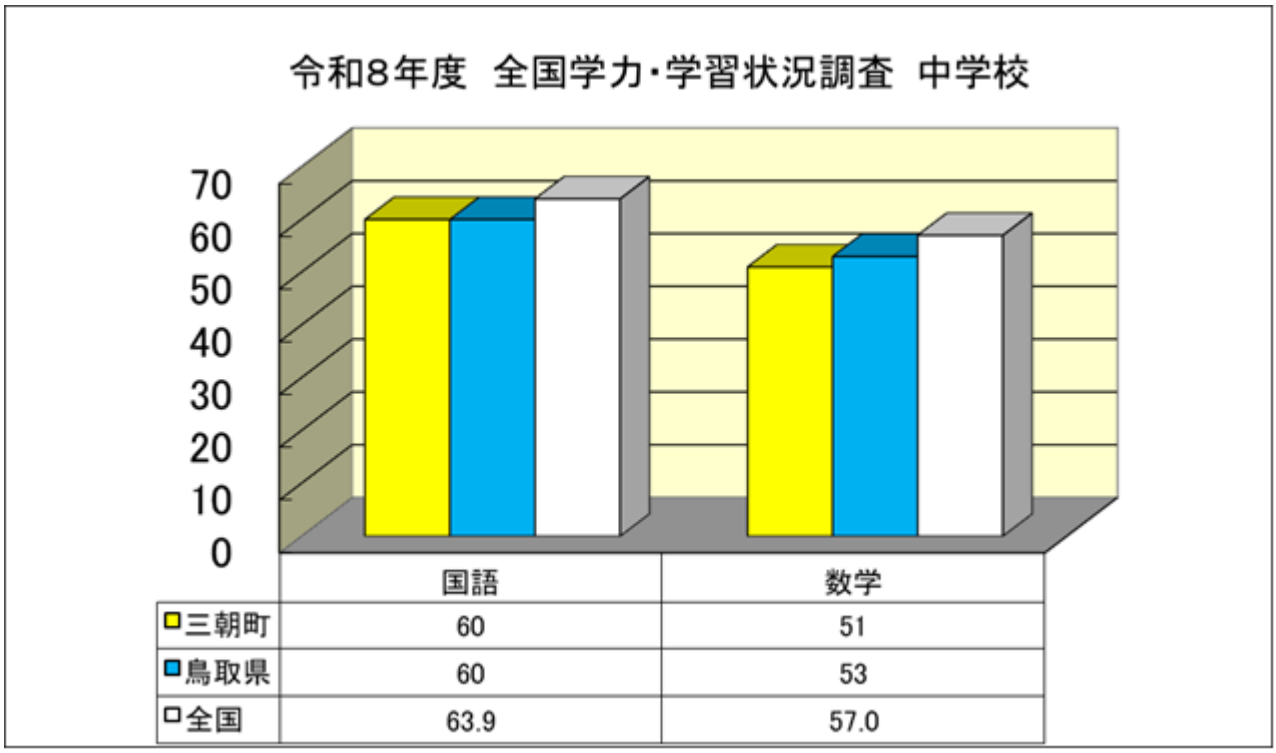
・平均正答率は 71%であり、全国平均（56.4%）を大きく上回る高い水準を維持した。

・「知識・技能」は 73.3%（全国 60.1%）に達し、基礎的な学習内容がしっかりと定着していることが確認された。

・「思考・判断・表現」は 63.0%（全国 45.4%）と全国比では高い水準にあるものの、本町の「知識・技能」の定着度と比較すると、活用力や記述力においてさらに伸びしろがある。
・「体積の意味の理解」を問う問題（大問１（３））の正答率が 39.6%と、全国平均（40.1%）をわずかに下回る結果となった。
・分からない問題でも諦めずに解答しようとする姿勢（多くの問題で無回答率が全国平均より大幅に低い）は、昨年度に引き続き三朝町の大きな強みである。
・【今後の授業改善に向けて】「意味の理解」を重視した具体操作や言語化の取組、図や表を活用した「思考の可視化」を図り、「なぜそうなるのか」という根拠を明確にしながら論理的に解決していく力を高めていくための授業づくりを進めたい。

２　三朝中学校３年生の結果について　（生徒数３７名/４４名）

（１）教科調査　　※数字は平均正答率（%）。県・市町村は、小数点以下四捨五入し整数で公表。



	国語	数学
三朝町	60	51
鳥取県	60	53
全国	63.9	57.0

英語	平均 IRT スコア
三朝町	466
鳥取県	469
全国	499

【IRT（Item Response Theory:項目反応理論とは】
国際的な学力調査や英語資格・検定試験で採用されるテスト理論。IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すものが IRT スコア（「聞くこと・読むこと・書くこと・話すことの４技能を統合したもの）。個人の結果は５段階の IRT バンドで表示される。

【国語】
・平均正答率は 60.0%であり、全国平均（63.9%）を 3.9 ポイント下回ったものの、令和７年度の全国との開き（6.3 ポイント減）と比較すると差は縮まっており、一定の改善傾向が見られる。
・「読むこと」の正答率は 62.2%と、全国平均（59.7%）を上回った。

・「知識及び技能」の正答率は 55.9%と、全国平均（64.2%）に比べて 8.3 ポイント低く、依然として課題が残る。
・特に、助動詞の働き、単語の類別、単語の活用といった口語文法事項において、全国比で 8～15 ポイント程度の開きが見られた。
・正答数分布では、0～6 問の低得点層が全体の 32.4%（12 名）を占め、10～11 問を正答した中得点層も 32.4%（12 名）と厚く、ここが本校のボリュームゾーンとなっている。
・【今後の授業改善に向けて】単なる暗記にとどまらず、文章を読んだり書いたりする中で文法がどのように機能しているかを意識させる指導や、「読むこと」の力を「書くこと」へ繋げるため、小学校で長年取組を継続している「条件を明確にした書く活動」を年間を通じて計画的に取り入れていくことが必要。

【数学】
・平均正答率は 51%であり、全国平均（57.0%）を 6.0 ポイント下回る状況にある。
・「思考・判断・表現」および記述式問題の正答率はともに 40.5%（全国 39.1%）と、いずれも全国平均を上回る改善が見られた。
・「知識・技能」は 55.0%（全国 63.0%）にとどまり、全国との開きが 8 ポイント以上の問題が 12 問中 7 問あった。
・文字を用いた式での「説明の方針の選択」やデータ活用における「箱ひげ図の解釈」などの問題では、全国平均と比べて 20 ポイント近い大きな開きが見られた。
・領域別では、令和 7 年度と同様に「図形」領域（50.7%：全国 48.7%）が全国を上回る強みとなった一方、「データの活用」領域は継続的な課題となっている。
・【今後の授業改善に向けて】「指導と評価の一体化」を徹底した単元設計のもと、一人一人のつまずきに応じた「教師の見取りと支援」を強化し、ICT を活用した個別最適な学びと、他者参照を通じた協働的な学びを一体的に充実させていく必要がある。

【英語】
・英語３技能（聞く・読む・書く）の平均 IRT スコアは 466 であり、全国平均（499）や鳥取県平均（469）を下回る結果となった。
・「読むこと・書くこと」の平均正答数は 2.3 問（全国 2.5 問）と全国水準に迫る状況であり、最下位層（バンド 1）の割合も 5.7%（全国 4.7%）と僅差に抑えられている。
・「聞くこと」の平均正答数が 0.9 問（全国 1.2 問）と開きがあることに加え、自分の考えや意見を英語で表現して「書くこと」の活用力に課題が見られる。
・段階評価（IRT バンド）では、バンド 2（40.0%）を中心とした中・低得点層（バンド 2・3）が全体の約 8 割を占めており、最上位のバンド 5 の割合は 0.0%（全国 5.9%）であった。
・【今後の授業改善に向けて】インプットした知識を表現（アウトプット）につなげるため、「相手に伝える」目的を明確にした書く活動や、複数の技能を統合した対話的な言語活動を日常的に取り入れ、表現力を高めていくことが大切。

３　「みささっ子教育ビジョン」に関する質問調査概要

は目標値以上

質問項目	目標値	三朝小	三朝中
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	1時間以上 小 85% 中 95%	62.0 （49.9）	42.9 （61.6）
将来の夢や目標を持っていますか。	小 90% 中 85%	96.0 （81.8）	71.5 （67.6）
自分にはよいところがあると思いますか。	小 95% 中 85%	96.0 （85.6）	85.7 （84.0）
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	小中とも 100%	94.0 （96.2）	100 （95.1）
朝食を毎日食べていますか。	小中とも 95%	94.0 （93.3）	97.1 （90.9）
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	小中とも 95%	92.0 （82.8）	91.5 （80.5）
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	小中とも 95%	98.0 （90.7）	91.4 （92.4）
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	小 90% 中 85%	90.0 （80.1）	91.5 （72.3）
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。	小 90% 中 95%	92.0 （85.7）	91.4 （87.0）
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	小中とも 100%	98.0 （95.8）	100 （95.9）

（　）は全国